

・平成24年9月15日(土)開催分

10 ものづくり企業育成支援事業、産学官連携 人材育成事業、新産業創出支援事業		票数	提言内容
1 拡充		1	
(1) 対象の拡大		0	
(2) 事業の手法、内容の拡充		0	
(3) 事業費の拡充		1	
(4) その他		0	
2 見直し		6	
(1) 事業の一部廃止		2	・事業内容云々というよりも、市としての現状分析、ビジョンづくり、それを実現するための目標、手段をきちんと構築してから「ものづくり企業育成支援事業」や「新産業創出支援事業」等に取り組むべきと考える。
(2) 事業内容、手法の見直し		6	
① 民間委託実施・拡大		0	
② 指定管理者制度の導入		0	
③ 自主財源確保(受益者負担等)		0	
④ 対象の見直し		0	
⑤ 手段の追加、改善		5	・支援策を早く、具体的に示すように努めること。 ・インターンシップについては、より多くの生徒や企業が利用できるよう、積極的に推進してほしい。 ・3事業ともに支援育成事業である。内容を整理して、統合できる分野(No55と56)は統合を。 ・「田川市企業誘致育成産学官連携協議会」をもっと活用し、方向性を探る必要あり。 ・本事業の目的等を達成していくためには、高度な戦略性を本格的に取り組んでいく必要がある。 ・マッチングを主体とした補助的な事業ならそれでも良い。明確化すべき。 ・「ものづくり企業育成支援事業」は「農商工連携による新産業の創出」等と統合できないのか。現状のままでは、事業が細かく分割されて、まとまった効果が出にくいのではないかと。 ・「産学官連携人材育成事業」は、メニューを増やす、現在働いている人の能力向上、女性の就労促進など。市単独ではできないので、関係機関と連携して実施する。
⑥ 設定目標の見直し		4	・行政としての役割と目標を明確にする。総合計画の重点プロジェクトになっているにも関わらず、推進力が感じられない。具体的な戦略が見えてこない。難しい課題ではあるが、行政としての現状認識とビジョンを示す必要がある。 ・目的を明確化していただき、現状と課題を把握した上で具体的な目標と手法を設定し直すべき。重要施策なら尚更です。学生さんは毎年卒業しているし、企業も日々頑張っています。
⑦ 実施期間の短縮		0	
⑧ その他		3	・厳しい都市間競争の中で、本事業の目的等を達成していくためには、高度な戦略性を持って本格的に取り組んでいく必要がある。事業内容云々と言うよりも、市としての現状分析、ビジョンづくり、それを実現するための目標、手段をきちんと構築してから「ものづくり企業育成支援事業」、「新産業創出支援事業」等に取り組むべきと考える。 ・検討会議は重ねているが、活動実績はない状況。人材育成(インターンシップ)を除き、支援協議会又は県(中小企業振興センター)に委ねるべきではないかと。 ・事業目的達成のための支援策であると考え。
3 廃止		0	
(1) 手段が目的化している		0	
(2) 達成手段として不適当		0	
(3) 効果なし(薄い)・逆効果		0	
(4) サービス受給者の自助努力・自己負担		0	
(5) 行政の役割終了、民間実施		0	
(6) その他		0	

(その他コメント)

・「ものづくり産業都市」をめざした重要施策が漠然としている。

・開始されて間もないので実績が無いのは自然なことかもしれないが、事務事業シートの活動実績、成果実績については実施してきたことが分かるように記載してもらいたい。